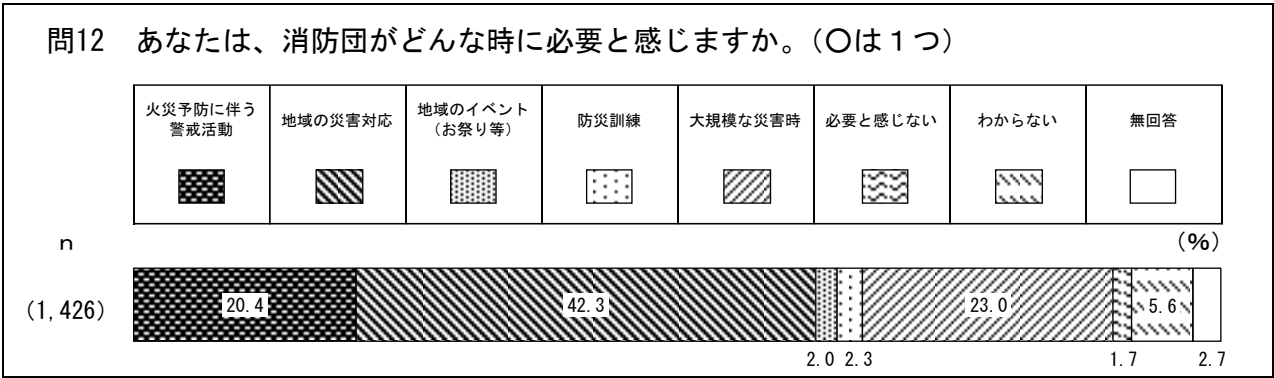


(4) 消防団がどんな時に必要と感じるか



消防団がどんな時に必要と感じるかたずねたところ、「地域の災害対応」(42.3%)が4割を超えて最も高く、次いで、「大規模な災害時」(23.0%)、「火災予防に伴う警戒活動」(20.4%)と続いている。

<性別・性／年齢別・区別結果>

性別でみると、「地域の災害対応」は女性が男性より7.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「大規模な災害」は男性30歳未満が最も高く、3割半ばとなっている。

「火災予防に伴う警戒活動」は男性70歳以上が最も高く、3割近くとなっている。

区別でみると、「地域の災害対応」は全ての区で4割を超え、「大規模な災害時」は全ての区で2割を超えている。

